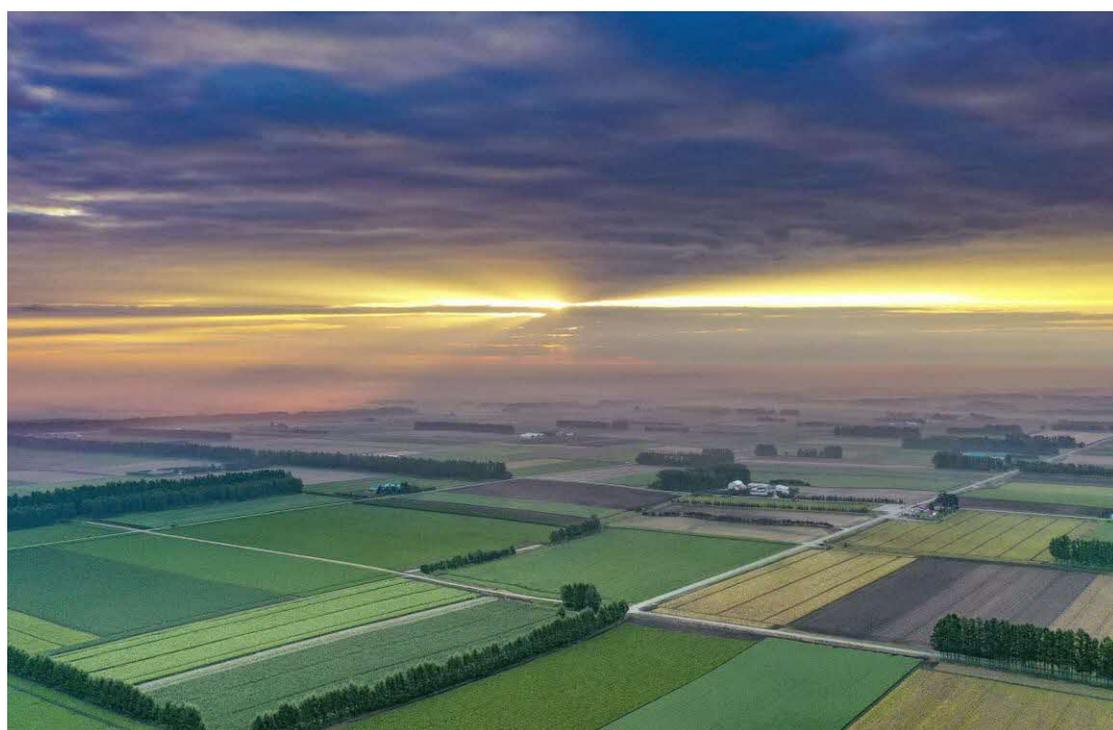


2021

十勝の農業



【題名：十勝野の夜明け】

令和2年度「とから農業・農村フォトコンテスト 十勝の農村景観部門」グランプリ受賞作品

令和4年（2022年）2月

北海道十勝総合振興局

もくじ

1	十勝農業の沿革	1
2	十勝管内図	2
3	グラフで見る十勝農業	
	農産	3
	畜産	4
4	十勝農業の概要	5
5	十勝の自然	
	気象	6
	土壌	7 ~ 8
6	十勝の農業のいとなみ	
	農業経営体数、農業就業人口	9
	耕地	10
	担い手	11 ~ 12
7	農協取扱高	13
8	農業生産の概要	
	農産	
	畑作	14
	(1) 小麦類	15
	(2) 豆類	15
	○大豆	16
	○○大豆	16
	○いんげん	17
	(3) てん菜	17
	(4) 馬鈴しょ	18
	(5) 野菜	19
	(6) 果樹	19
	(7) 花き	20
	(8) 水稲	20
	畜産	
	(1) 酪農	21
	(2) 肉用牛	22
	(3) 中小家畜	23
	(4) 馬	23
	(5) 飼料作物	24
9	農業農村整備事業	25 ~ 26
10	農畜産物の加工	
	農産	

もくじ

(1) てん菜製糖	27
(2) 馬鈴しょ加工	28
(3) 食肉処理加工	29

11 関係機関・団体

農業協同組合	30
農協系統組織	31
十勝農業協同組合連合会	32 ~ 33
土地改良区	34
農業共済団体	35
農業改良普及センター	36
家畜保健衛生所	37 ~ 38
独立行政法人 家畜改良センター十勝牧場	39 ~ 40
農研機構 北海道農業研究センター	41
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構	42
十勝農業試験場	42
畜産試験場	43 ~ 44
北海道立十勝圏地域食品加工技術センター	45
国立大学法人帯広畜産大学	46
北海道立農業大学校	47 ~ 48

12 地域の取組

(1) 北のクリーン農産物表示制度 (YES! Clean表示制度)	49
(2) 環境保全型農業直接支援対策	50
(3) エコファーマー	50
(4) 有機農業	51
(5) バイオマス	51
(6) スマート農業	52
(7) 農作業安全	53
(8) 有害鳥獣	54

13 トピックス

食育活動	55
十勝管内「食づくり名人」	55
道産食品登録制度・独自認証制度	56
北のめぐみ 愛食レストラン	57 ~ 58
麦チェンサポーター店	59 ~ 60
十勝ブランド登録制度	61 ~ 62
グリーン・ツーリズム	63
ふれあいファーム	64

1 十勝農業の沿革

年号	主なできごと
寛文6年	松前藩が「ピロー場所」を設け十勝アイヌと交易を始めたのが和人による十勝開発の始まり
明治2年	開拓使設置
明治4年	静岡藩より農家数戸が入植（集団移住の始まり）
明治16年	静岡県の依田勉三を中心とする「晩成社」が帯広の地に入植
明治30年	福島県の二宮尊親を中心とする「興復社」が豊頃村に入植
明治40年	道央と鉄道が開通し飛躍的に開拓が進展
大正3年	第1次世界大戦以降の影響で農産物価格が高騰 「豆成金」が現れる
大正9年	十勝農業学校創立（現在の帯広農業高等学校） 戦後恐慌が勃発し農産物価格大暴落
昭和4年	十勝の水田1万町歩突破
昭和11年	種馬鈴しょの道営検査（国内初のウイルス病圃場検査）の実施
昭和17年	「食糧管理法」の制定
昭和22年	北海道庁が北海道になる 「農業協同組合法」の制定
昭和26年	「植物防疫法」による種馬鈴しょ検査の開始
昭和29年	小豆が異常高値で「赤いダイヤ」と称される（1俵1万円）
昭和36年	「農業基本法」の制定
昭和42年	十勝酪農民資本の乳業工場として北海道協同乳業(株)設立 （後によつ葉乳業(株)に社名変更）
昭和57年	十勝管内農業粗生産額（産出額）2,000億円台に到達
昭和61年	初の生乳の減産型計画生産が行われる
平成2年	管内16農業共済組合が合併 事業規模全国一の十勝農業共済組合が誕生
平成5年	ガット・ウルグアイラウンド農業交渉合意 記録的冷害により豆類などに被害
平成11年	「食料・農業・農村基本法」の制定
平成12年	口蹄疫発生 雪印乳業大樹工場製造の粉乳食中毒事件
平成13年	道内でBSE発生 BSE全頭検査始まる
平成15年	9月に十勝沖地震発生 農業施設に被害
平成17年	生乳生産抑制 減産緊急対策への取り組み 処理不可能乳の廃棄処分
平成19年	「水田・畑作経営所得安定対策」の導入 （旧名称・品目横断的経営安定対策）
平成23年	「農業者戸別所得補償制度」（現行制度：経営所得安定対策）の本格導入（平成22年に一部先行導入）
平成28年	異常気象による農業被害（4台風の直撃・接近等） 家きんの高病原性鳥インフルエンザ発生
平成29年	十勝農業共済組合と土幌町が組織再編、十勝管内を一円とする十勝農業共済組合が誕生 十勝管内農業粗生産額（産出額）3,000億円台に到達
平成30年	10月に北海道胆振東部地震により北海道全域で大規模停電発生 酪農に影響
令和元年	十勝管内農業粗生産額（算出額）3,500億円台に到達
令和2年	北海道畜産公社十勝工場の牛肉輸出において、香港、EU向け可能施設として道内で初めて認可